

フリーゲージトレイン（軌間可変電車）の耐久走行試験の一時休止について

鉄道・運輸機構
九州旅客鉄道株式会社

フリーゲージトレイン（軌間可変電車）については、本年4月20日から走行試験（性能確認試験）を開始し、新幹線区間での時速270km走行、在来線区間での時速130km走行など達成し、10月19日より新幹線・軌間変換・在来線を繰り返し走行する3モード耐久走行試験を行ってきました。

約400回の軌間変換を実施するとともに約3万kmを走り込んだ時点で一部の台車を調査したところ、スラスト軸受のオイルシールの部分的な欠損及びすべり軸受と車軸の接触部に微細な摩耗痕の発生が確認されました。

このため、必要な対策の検討をはじめとした、初期段階での部品点検のための詳細調査を実施することとし、その間の走行試験を見合わせることにしました。

なお、詳細調査には1ヶ月間程度を要する見込みで、調査結果や走行試験の再開時期等については、改めてお知らせいたします。

新試験車両を使った3モード耐久走行試験の実施状況

○ 試験実績： 平成26年10月19日～11月29日（33日）

○ 累計走行距離： 約33,000km

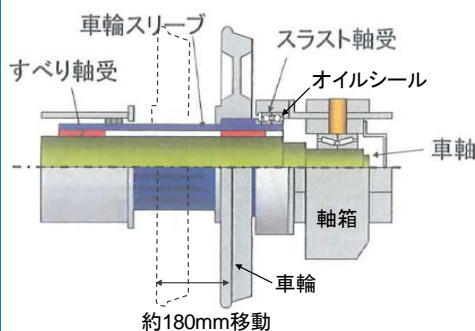
○ 軌間変換回数： 約400回

注）3モード耐久走行試験に先立ち、車両の性能を確認するための性能確認試験を行っている（H26.4.20～10.19 累計走行距離 約12,000km、軌間変換回数約300回）



新試験車両（平成26年3月完成）

軌間可変輪軸の構造



- 車輪スリーブ
車輪と一体化された筒状の部品で、軌間変換にあわせて車軸上を左右に移動する
- すべり軸受
円滑な左右移動のために車輪スリーブ内側に取り付けられた筒状の部品で、車軸と接触している
- スラスト軸受
レールから車輪に加わる左右力を台車（軸箱）に伝える軸受（ベアリング）
なお、オイルシールは軸受（ベアリング）内のグリース流出を防止する部品

【資料配布先】

（東京）
国土交通記者会、交通運輸記者会、
建設専門紙記者会
（九州）
九州JR記者クラブ

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
045-222-9101 広報課
九州旅客鉄道株式会社
092-474-2541 広報室